

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(4)-イ	大規模災害等に備えた強くしなやかな県土づくりの推進	施策	①社会基盤等の防災・減災対策
			施策の小項目名	○高潮及び潮風対策の推進
主な取組	海岸保全施設整備事業（農村振興局所管海岸）		対応する成果指標	防災拠点となる公共施設等の耐震化率
施策の方向	・土砂災害対策については、ICT等を活用し、砂防関係施設及び治山施設の整備によるハード対策と併せて、土砂災害警戒区域等の指定及び見直しによる警戒避難体制の整備等のソフト対策に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画			
		活動指標(アウトプット)			
		R4	R5	R6	
海岸法に基づいて指定された海岸保全地域における津波、高潮、波浪による被害からの海岸及び背後農地を防護し、農業生産の安定と併せて国土の保全を図る。	県	農村振興局所管海岸の整備(高潮・侵食対策)			
		整備地区数(内訳)			
		1地区	2地区(新規1地区、継続1地区、累計2地区)	4地区(新規2地区、継続2地区、累計4地区)	
担当部課【連絡先】	農林水産部農地農村整備課		【 098-866-2285 】	関連URL	-

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	海岸保全施設整備事業費			予算事業名	海岸保全施設整備事業費	
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額	R7年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 (ハード)	直接実施	12,665	22,800	一括交付金 (ハード)	直接実施	174,310
令和6年度活動内容				令和7年度活動計画		
北浜地区（中城村）ほか1地区において、海岸保全対策整備を実施した。				北浜地区（中城村）ほか1地区において、海岸保全対策整備を実施する。		

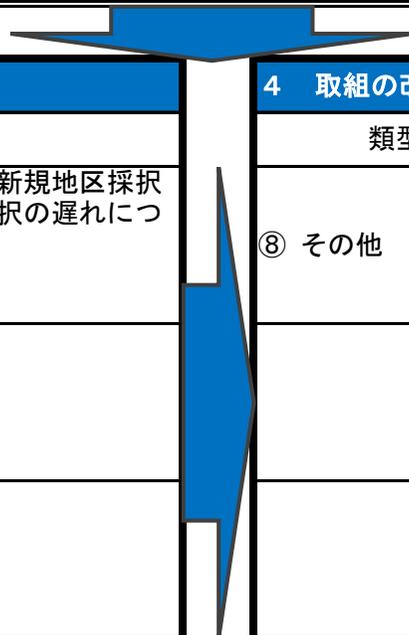
活動指標名	整備地区数（内訳）		R6年度			進捗状況	活動概要
	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	1地区	1地区	2地区	4地区 <small>(新規2地区、継続2地区、累計4地区)</small>	50.0%	大幅遅れ	北浜地区（中城村）ほか1地区において、海岸保全対策整備を実施した。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>目標値4地域に対し実績2地域であったため、「大幅遅れ」と判定した。その要因としては、新規地区採択に係る計画精度の低さにより採択に遅れが生じていることが考えられる。 令和6年度は新規1地区を採択した。また、北浜地区においては、用地買収不可の箇所を含んだ残工区の整備方針を取りまとめたことから残工区的设计に着手できたところであり、整備完了に向けて進捗が見られた。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
<p>○事業を実施する上で課題となったものがあつた場合は事業執行担当者だけでなく、ヒヤリング等を実施して事業計画担当者とも共有し、次期採択予定地区へフィードバックする。</p>	<p>○事業を実施する上で課題となったものがあつた場合は事業執行担当者だけでなく、ヒヤリング等を実施して事業計画担当者とも共有し、次期採択予定地区へフィードバックする。</p>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	事業を実施する上での課題になったこと等が新規地区採択の事業計画担当者へ共有されておらず、地区採択の遅れにつながっている。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
⑧ その他	執行・計画担当者を含む組織全体で適切に情報共有し、次期採択予定地区へ確実にフィードバックする。



様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(4)-イ	大規模災害等に備えた強くしなやかな県土づくりの推進	施策	①社会基盤等の防災・減災対策
			施策の小項目名	○高潮及び潮風対策の推進
主な取組	海岸保全施設整備事業 (水産庁所管海岸)		対応する成果指標	防災拠点となる公共施設等の耐震化率
施策の方向	・土砂災害対策については、ICT等を活用し、砂防関係施設及び治山施設の整備によるハード対策と併せて、土砂災害警戒区域等の指定及び見直しによる警戒避難体制の整備等のソフト対策に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
台風発生時に高潮・波浪による被害から背後地を守るため護岸又は人工リーフ等の海岸保全施設の整備により防護機能を確保する。	県,市町村	海岸保全施設の整備(高潮・津波対策)		
		整備地区数(内訳)		
		1地区	1地区(新規1地区、累計2地区)	1地区(継続1地区、累計2地区)
担当部課【連絡先】	農林水産部漁港漁場課	【 098-866-2305 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	海岸保全施設整備事業			予算事業名	海岸保全施設整備事業	
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額	R7年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 (ハード)	補助	264,094	71,720	一括交付金 (ハード)	補助	344,720
令和6年度活動内容				令和7年度活動計画		
勢理客漁港海岸及び塩屋漁港海岸で海岸保全施設を整備した。				勢理客漁港海岸及び塩屋漁港海岸で海岸保全施設を整備する。		

活動指標名	整備地区数 (内訳)		R6年度			進捗状況	活動概要
	R4年度	R5年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	1地区	1地区	2地区	1地区 (継続1地区、累計2地区)	100.0%	順調	海岸保全施設の整備を勢理客漁港海岸および塩屋漁港海岸で実施した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

整備の目標値1地区に対し、実績値は2地区となっていることから、進捗状況は「順調」と判断した。海岸保全施設の整備を行い、台風時や荒天時による高潮被害（越波または浸水被害等）からの公共土木施設被害リスクが低減された。

(2) これまでの改善案の反映状況	令和6年度の取組改善案	反映状況
	○ 整備にあたって漁業活動に影響のでないよう漁協や地元住民関係者と調整する。また、養浜を行う地区では今年度の調査・設計で安定した養浜ができるよう留意する。	漁協や地域住民等関係者と調整した結果、収穫時期に工事を中断するなど、モズク養殖に支障のない整備を実施している。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
② 他の実施主体の状況(内部要因)	漁協や地元住民関係者と密に連絡を取った結果、トラブル等は発生せず円滑に工事実施が可能となった。	④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	整備にあたって漁業活動に影響がないよう漁協や地元住民関係者と調整する。また、養浜を行う地区では今年度の調査・設計で安定して行えるよう留意する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(4)-イ	大規模災害等に備えた強くしなやかな県土づくりの推進	施策	①社会基盤等の防災・減災対策
			施策の小項目名	○高潮及び潮風対策の推進
主な取組	防風・防潮林の整備		対応する成果指標	防災拠点となる公共施設等の耐震化率
施策の方向	<p>・土砂災害対策については、ICT等を活用し、砂防関係施設及び治山施設の整備によるハード対策と併せて、土砂災害警戒区域等の指定及び見直しによる警戒避難体制の整備等のソフト対策に取り組みます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
保安林の防風・防潮機能を維持強化するための森林の造成又は改良等を行う。	県	防風・防潮林の造成による保安林の整備		
		防風・防潮林の整備面積(累計)		
		1.5ha	1.5ha(3.0ha)	1.5ha(4.5ha)
担当部課【連絡先】	農林水産部森林管理課	【 098-866-2295 】	関連URL	https://www.pref.okinawa.jp/site/norin/shinrin/hozen/chisanjigyou.html

様式1 (主な取組)



2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	治山事業費 (補助金事業)			予算事業名	治山事業費 (補助金事業)	
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額	R7年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
内閣府計上	直接実施	129,488	343,597	内閣府計上	直接実施	133,852
令和6年度活動内容				令和7年度活動計画		
保安林の防風・防潮機能を維持強化するための森林造成又は改良等を行う。				保安林の防風・防潮機能を維持強化するための森林造成又は改良等を行う。		

活動指標名	防風・防潮林の整備面積 (累計)		R6年度			進捗状況	活動概要
	R4年度	R5年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	1.8ha	1.4ha	1.8ha	1.5ha (4.5ha)	100.0%	順調	台風等による潮風害から、民家、畑又は公共施設等を保全するため、9地区1.8haの防風・防潮林の造成又は改良をし、機能強化を行った。また、整備した防風・防潮林の保育のほか山地災害対策等を行った。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>防風・防潮林の整備について、目標値1.5haに対し、実績値は1.8haであったことから、進捗状況は順調と判定している。 衰退した防風・防潮林で計画的に整備を実施すること、また、整備後の保育で成長を促すことにより防風・防潮機能が発揮され、背後の民家や畑の保全が図られている。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> ○ 防風・防潮林の整備面積の目標値を達成するために、引き続き、適切な人員配置や予算要求を行い事業の早期発注に努めていく。 ○ 地元の要望・意見等を精査したうえで、事業採択要件に見合うよう事業範囲の選定や条件整備を行い、事業を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 早期発注により、現地の状況及び地元の要望を踏まえた施工ができた。 ○ 保安林制度及び治山事業について、目的、事業内容を関係市町村等へ周知し、地元からの要望・意見等の情報収集に努めた。

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
① 県の制度、執行体制(内部要因)	事業着手後に生じる設計変更や施工方法に対する地元からの追加要望等諸課題の解決及び確実な事業執行のために早期発注が必要である。
⑦ その他(改善余地の検証等)	地元からの要望があっても、保全対象が事業採択要件に満たないため、実施不可となる事がある。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
① 執行体制の改善	円滑な防風・防潮林の整備に向け、関係機関との丁寧な調整と事業の早期発注に努める。
② 連携の強化・改善	地元の要望・意見等を精査したうえで、事業採択要件に見合うよう事業範囲の選定や条件整備を行い、事業を実施する。

